

令和2年7月豪雨災害

この度の豪雨により、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしますと共に、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また被災地にお住まいの方々の一刻も早い復興をお祈りしております。



7月3日(金)夜から局地的に降り続いた大雨により熊本県を流れる球磨川水系の計13箇所川が氾濫・決壊、八代市や人吉市、球磨村など市街地の広範囲が浸水し、道路冠水や土砂災害など広範囲で大きな被害が出ました。線状降水帯による被害はそれだけに留まらず、中国・四国地方、岐阜・長野など日本各地に記録的な雨量をもたらした住宅被害も甚大なものとなり、2020年度初の激甚災害に指定されました。

また、同月28日には東北・北陸でも記録的な大雨となり、最上川中流が氾濫、住宅地で浸水被害が起きました。

残念なことに、コロナ禍のため県をまたぐ移動は自粛を求められており、現地に駆け付けて行動を起こしてきた我々にとっても、試練の災害となりました。現在は、被災地の状況共有やコロナ禍においても災害ボランティア活動を安全に行うためのWEB学習会を実施したり、被災地の生の声をお聞きした上で必要な物資をお送りさせていただいております。募金にご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

☆第一弾…7月17日発送(日常物資)

☆第二弾…7月30日発送

(鍵盤ハーモニカ・書道セット)



- c o n t e n t s -

- P 1 令和2年7月豪雨・当団体支援状況
- P 2 Vision117/コロナ感染症対策講習会/西日本豪雨災害支援活動
- P 3 東日本大震災から9年/子ども防災クラブ/お手紙プロジェクト
- P 4~6 . . . NVNAD通常総会報告
- P 6 カレンダー中止のお知らせ/ココロープ誕生
- P 7 まちごと防災プログラム/Nうごき・Nごよみ
- P 8 会員・寄付者・募金者のみなさま/編集後記

Vision 117

新型コロナウイルス感染症の蔓延（コロナ禍）は、私たちの生活を大きく変えつつあります。NVNADでは、中国武漢での市民による救援活動を承けて、友好関係にある四川省の団体を中心に国際的なネットワークに関わって国内外の救援活動について学びました（継続中）。そして、アドバイザーとして関わっている大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター災害ボランティアラボを通じて、新型コロナウイルス連続学習会を開催し、吹田市の独居高齢者に手紙を出す阪大生のグループを支援してきました。

どうか今年には自然災害が起こらないでほしいと願っていましたが、やはり九州を中心に大きな水害が発生し尊い命が奪われ、不自由な生活を強いられる方々がたくさん生まれました。コロナ禍での災害救援。こんな時こそ現地でお手伝いするのが災害ボランティアだという気持ちと、災害ボランティアが

感染を広げたのでは元も子もないという気持ちに揺れます。

NVNADでは、スタッフや関係者を中心に、感染症の専門医による研修、リスク管理の専門家による講習、医師による手洗い指導、そして、病院での実習など、少し回り道かもしれませんが、今後の活動に活かせる学びを重ね、災害ボランティアとして被災地を訪れたときに現地の皆様にも災害ボランティアの方々にも不安を与えずに活動できるような仕組みの構築に取り組んでいます。派手に目立つ活動ではありませんが、被災された方々のお気持ち、現地でお手伝いされている地域の皆様のご心配などをくみ取りながら活動をしていける体制づくりに励んでいます。

ようやくNVNAD側でできる準備がほぼ出そろった状態です。折りを見てボランティアさんとともに現地を訪れてお手伝いを始めたいと考えています。コロナ禍がまたぶり返しているようにも思います。少し時間はかかるかもしれませんが、引き続き、ご支援のほどお願い申し上げます。

（理事長 渥美 公秀）

コロナ感染症対策講習会

7月28日（火）、西宮市立中央病院にて、「新型コロナウイルス感染症対策講習会」が開催され、西宮市社会福祉協議会の職員と共に参加してきました。前半は東北大学の押谷教授によるレクチャーの動画を約50分見せていただき、後半は質疑応答でした。症状が出る2日前から感染リスクがあることや、高齢になるほどウイルス量が増え重症化しやすいこと、あるいは、唾液にもたくさんウイルスが含まれていることや、実際にマスクやガウンなどを着脱する手順などを具体的に学びました。被災地でのボランティア活動をする上で、参考にしていきたいと思います。中央病院の皆様、この度は貴重な機会をご提供いただき本当にありがとうございました。



※2～4月の活動

西日本豪雨災害支援活動



2月29日（土）、岡山県倉敷市真備町の仮設住宅にてグリーンコープ岡山様主催の炊き出し交流会が開催され、大阪大学の学生さんと一緒に参加してきました。

ちらし寿司を作り、集まった皆さんと食事をしながら和気あいあいとお話をさせていただきました。また、少量ながら予備のマスクを仮設住宅の方達にお渡しすることができました。水害当時の貴重なお話や「この炊き出しが楽しみ」というご意見も聞け、この催しに参加出来た事をとっても嬉しく思います。ご参加の皆様方に改めてお礼申し上げます。

《東日本大震災から9年》

東日本大震災からちょうど9年になる3月11日(水)、野田村の「はたてんぼうだい」で行われた追悼式に立ち会いました。埠頭の前に立ち、震災により亡くなられた方や現在お過ごしになられている方達の思いを考えた時、些細なことですが、今生きている日常がとても貴重なものであることを改めて感じ、周りの人や小さな幸せを大切に過ごすことが大事であると痛感しました。夜にはNVNADが9年前からお世話になっている現地の方たちと集まり、当時の貴重な話や今後の地元の生活の仕方、何気ない日常話を時に真剣に、時に楽しく話され、とても貴重な時間を過ごさせて頂きました。

翌日は、陸前高田市にある「東日本大震災津波伝承館」にて、当時の映像や資料、被災者の方たちのお話をパネルで拝見しました。現在生きている私たちが、過去の震災から遺されているものを学び取り、今後起こりうるであろう災害に対して準備をし、少しでも被害を少なくする事が、今現在の大切な人たちを守ること、そして何よりも過去に被害に遭われた方達の遺志を繋ぐことだと感じました。

現地の方々、そしてNVNADにご支援頂いた皆さまのお陰でこの三日間を過ごすことが出来ました。このような機会を頂けたことに感謝の念を感じるとともに、皆様の支援を裏切るわけにはいかないと更に災害復興にまい進していく気持ちが強くなりました。今後ともNVNAD、そして被災地のご支援、応援の程宜しくお願い致します。(新スタッフ 荒木正澄)



子ども防災クラブ



毎年3月に行う最終回は、一年間の活動のふりかえりと思い出作り(工作)を行うのですが、この度はコロナの影響で見送りとなりました。せめて6年生の修了式だけでも行いたいと3月29日(日)、高木小学校中庭(屋外)に6年生二人に集まってもらいました。学生リーダーと社会人ボランティアさんの参加もあり、計6名で元気に外遊びを楽しみ、そのあとに修了式を行いました。家で過ごす時間が長かったこともあり「楽しかった〜!」と笑顔を見せてくれた6年生。中学生になっても、Dクラブで学んだことを忘れずに頑張ってください。ご協力くださったボランティアさんお二人にもお礼申し上げます。



お手紙プロジェクト

「よりそい隊」活動報告

私たち「すいすい吹田」は、2018年の大阪北部地震をきっかけに結成し、キャンパスのある大阪府吹田市で、吹田市社会福祉協議会とも連携し、活動していました。2020年4月、新型コロナウイルス感染症が広がって外出自粛が求められるようになったことにより、一人暮らしの高齢者の方の気分が沈んでいる、「声が出にくくなってしまった」という声があるというお話を伺いました。そこで、住民の方に実際にお会いすることなく、何か別の方法で私たちにできることがないかと考え始めたのが、「よりそい隊」活動です。



これは、私たちが月に一度、手書きでお手紙やニュースレターを作成し、地域の福祉委員さんに配布をお願いするというものです。住民の皆様からは、たくさんのお手紙やメールでのお返事、感想をいただいています。住民の方を元気づけたいという想いで始めた「よりそい隊」活動ですが、むしろ私たちのほうが励まされているように感じています。ニュースレターの継続発行はもちろん、今後も状況を見て活動を広げていきたいです。



(大阪大学人間科学部 倉田和佳)

第22回NVNAD通常総会報告

第22回NVNAD通常総会は、2020年6月13日（土）西宮市において開催、提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

I. 第21期（2019年度）事業報告（2019. 4. 1～2020. 3. 31）

第21期（2019年度）を振り返ってみると、災害救援においては、10月に発生した台風19号豪雨災害に対してまず静岡県に先遣隊を派遣し、その後、これまで交流のあった岩手県野田村や福島県郡山市での支援活動を行った。また、長野県長野市には、神戸市に本社がある株式会社フェリシモから助成金をいただき、ボランティアバスを11月末に運行した。その他の支援活動としては、2009年8月水害の被災地（佐用町久崎地区）で、チャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）と10周年の交流会を実施した。2011年3月の東日本大震災関連では、岩手県野田村での居場所づくりや西宮の子どもとの交流事業。福島県郡山市では、地元のNPO法人ハートネットふくしまが復興住宅で継続実施しているお茶会の支援活動をサポートした。また、地元西宮においては、県外避難者を対象にした活動をKSN（関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催で2回実施した。そして、2014年8月の丹波市土砂災害の被災地では子どもを対象にした防災教育、2016年の熊本地震や2017年の九州北部豪雨災害においても、地元のボランティア活動を経費面でサポートした。また、2018年7月に発生した西日本豪雨災害の被災地である岡山県倉敷市真備町の仮設住宅での交流活動を大阪大学と定期的に実施した。

平常時の活動においては、活動の3本柱である①『防災まちづくり活動』としては、子ども防災クラブや災害ボランティアセンター運営訓練などを実施した（運営マニュアルも作成）。②『講演・講座活動』としては、八尾市社会福祉協議会や岬町社会福祉協議会、近畿ろうきん等からの継続した講座の依頼に加え、八尾市消防本部や徳島県社会福祉協議会等、新規の講座依頼も多数あった。③『ネットワーク活動』としては、第24回チャリティカレンダー市を開催するにあたり地元の団体（西宮市社会福祉協議会、さくらFM、ボーイスカウトなど）と企画運営委員会を開催して実施した、また、ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）運営委員や、兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議などを通じて、兵庫県内の他団体とのつながりを広げさせていただいた。そして、2月1日には、団体設立25周年記念のつどいを開催し、これまでお世話になった方々に感謝の気持ちをお伝えすると共に、今後の災害に備えつながりを深め広げさせていただく有意義な機会になった。その他、大阪大学（人間科学部）とは未来共創センター内に11月に「災害ボランティアラボ」が設置され、アドバイザーとして新型コロナウイルスの学習会の企画や防災イベント「防災ピクニック」などに参画した。（ご報告）認定NPOの更新については、無事6月に完了することができた。

（活動事業実績）

1. 災害に関する講演、講座事業 31回
2. 防災まちづくり事業（ワークショップ事業） 10回
3. ネットワーク事業 8回
4. 災害救援活動事業 32回
5. その他の活動 11回

II. 第21期（2019年度）決算並びに第21期予算

別表参照

III. 第22期（2020年度）事業計画（2020. 4. 1～2021. 3. 31）

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、西日本豪雨災害や台風19号豪雨災害などでの活動を継続していきたいと考えている。東日本大震災関連では、2021年3月11日に震災から10年を迎えるにあたり、岩手県野田村や福島県郡山市での活動の集大成としての取り組みを考えている。また、地元西宮の県外避難者の支援については、KSN（関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体）主催での交流イベントなどの支援活動の継続を予定。西日本豪雨災害では岡山県倉敷市真備町での仮設支援の継続や、台風19号豪雨災害では長野県長野市での写真洗浄活動を中心に、大阪大学や関西学院大学などの写真洗浄ボランティアチームとも連携して取り組んでいきたい。南海トラフ巨大地震など新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきん社会貢献預金「笑顔プラス」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていく。そして、新型コロナウイルス感染症を災害ととらえ、出来る範囲での支援活動を、大阪大学など他団体とも連携しながら模索していきたい。

平常時の活動については、これまでの①防災まちづくり活動、②講座・講演活動、③ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に展開していく。特に、昨年度はNVNAD役員&事務局で自治会などを対象に新たな防災啓発のための「まちごと防災」プロジェクトを立ち上げたので、新型コロナウイルス感染が落ち着いた段階で、まずは地元の西宮を中心に、広報を含め積極的にPRしていきたい。加えて「募金箱大作戦」という新プロジェクトも企画して、西宮市内のお店を中心に、団体のPRも兼ねて募金箱を設置してもらえようように交渉を考えている。また、今年度は「健康と防災(災害)」をテーマに実施している「ウォーキング」をコロナ対策として内容を工夫して実施を検討中。その他、昨年11月に大阪大学の未来共創センター内に「災害ボランティアラボ」

が設置され、アドバイザーとして関わることになった経緯から、災害や防災をテーマに様々な企画にも参画していければと考えている。

I. 災害救援の活動

1. 救援活動

(1) 東日本大震災の支援活動

- ①被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
- ②西宮市内での避難者支援活動（K S Nプロジェクト）
- ③野田村ファンクラブ

(2) 兵庫県佐用町・丹波市水害の支援活動

(3) 熊本地震・九州北部豪雨災害の支援活動

(4) 西日本豪雨災害の支援活動

(5) 台風19号豪雨災害の支援活動

(6) 新型コロナウイルスの支援活動

II. 次の災害に備えるための防災（広報・啓発等）の活動

1. 地域防災活動

(1) 子ども防災クラブ（次世代のリーダー育成）

(2) 親子防災事業（地域での防災啓発）

2. 防災意識高揚のための取り組み

(1) まちごと防災プログラム事業

(2) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業

(3) 講演等の受託事業

3. ネットワークの拡充

(1) 全国災害救援ネットワーク（Jネット）総会

(2) ひょうご市民活動協議会（愛称：ひょうごん）

(3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議（兵庫県）

(4) チャリティカレンダー市

4. 新規事業の企画・・・収益（事業、会費、寄付など）を高めるために

(1) 防災IT事業(阪大もん)の実施（NPO法人北いわて未来ラボ&阪大）

(2) 災害ボランティアラボとの連携（阪大人科）

(3) 募金箱大作戦（店頭に募金箱を設置、団体の広報も兼ねる） など

III. その他

事務所の移転（使用期間：2021年2月28日まで）

IV. 今年度末（2020年3月末）の災害救援準備金残高 1,000千円

（災害救援準備金の取り扱い細則）

(1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告の上、承認を受けることとする。

(2) その内500千円は、近畿ろうきんの寄付制度「すまいる(2017年度)」より、近畿圏内での災害支援活動の費用として積み立てたものである。

IV. 役員選任について（案）

役員候補者

理 事	(再任)	渥美 公秀	大阪大学大学院教授
"	(再任)	池田 直樹	弁護士（あすなろ法律事務所）・関西学院大学教授
"	(再任)	奥田 和子	甲南女子大学名誉教授
"	(再任)	寺本 弘伸	常勤理事
"	(再任)	檜垣 龍樹	尼崎市職員
"	(再任)	山口 元	(社福)光朔会オリンピック理事長
"	(再任)	矢守 克也	京都大学防災研究所教授
"	(再任)	米山 清美	にしのみや遊び場つくり会代表
"	(新任)	萩野 茂樹	デザイナー・三重県ユニバーサルデザインアドバイザー
			*監事を退任し理事に就任
"	(退任)	太田 博	株式会社GEOソリューションズ取締役会長
			*顧問に就任
監 事	(再任)	岩瀬 哲正	公認会計士・税理士（岩瀬会計事務所）
"	(新任)	鈴木 勇	大阪成蹊大学教授

(別表) 活動計算書 (第21期決算及び第22期予算)

「一般会計・特別会計(災害救援)」

(単位:円)

科目	第21期予算	第21期決算	第22期予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	830,000	744,500	790,000
2. 受取寄付金	1,120,000	2,766,602	1,620,000
3. 受取助成金	1,500,000	3,134,708	800,000
4. 事業収益	3,960,000	1,478,252	2,930,000
5. その他収益	600	268	100
経常収益計	7,410,600	8,124,330	6,140,100
II. 経常費用			
1. 事業費	12,627,716	13,770,198	14,790,694
2. 管理費	1,939,164	619,100	1,630,206
経常費用計	14,566,880	14,389,298	16,420,900
税引前当期正味財産増減額	-7,156,280	-6,264,968	-10,280,800
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-7,238,280	-6,346,968	-10,362,800
前期繰越正味財産額	35,062,820	35,062,820	28,715,852
次期繰越正味財産合計	27,824,540	28,715,852	18,353,052

=== カレンダー市中止のお知らせ ===

本来ならば来年1月に第25回を迎えるはずだったカレンダー市ですが、新型コロナウイルス感染予防のため、誠に残念ながら中止の決定をいたしました。

毎年ご協力くださっている皆さま、ご購入くださっている皆さまにお知らせいたしますとともに、改めて御礼申し上げます。もし訊ねられることがありましたら、ご周知くださるようお願い申し上げます。



NVNAD (日本災害救援ボランティアネットワーク)
女性スタッフによる支援チーム

NVNADは今年で設立25年を迎えました。その間、実に多くの方に支えていただき、災害救援活動に携わることができました。そして、その活動を通じて、様々な被災地に赴き、たくさんの方と出会うことができました。支えてくださった方々、活動において出会った方々…皆様との出会いや繋がりが私たちにとって何よりの財産となっています。

その財産である”繋がり”をより活かした活動を模索する中、女性スタッフによる支援チームの立ち上げに至りました。小さな団体ならではのきめの細かい、丁寧な活動を行いたいと思っています。少しでも多くの方に繋がっていただけることを願って・・・

『ココロープ』の名前に込められた思いとは？

ココロ=心・想い ロープ=綱(繋ぐ・引き出す・レスキュー)
の言葉を掛け合わせて、心が繋がる、心を元気にする、繋がることで助け合う、の思いを込めました。

第一弾として、被災地に手作りマスク(子ども用)を贈る活動をしています。呼びかけから日が浅いにも拘わらず、150枚を超えるマスクが事務所に集まり、スタッフ一同感謝するばかりです。本当にありがとうございます。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://cocorope.wordpress.com/>



思いが込められた素敵な手作りマスク

●●●まちごと防災プログラム●●●

コロナに負けず、防災意識を高めよう!!

近年、日本では毎年のようにやってくる災害のリスクと向き合わざるを得ない状況になってきました。いつどこで起こるか分からず、地域・個人ともいかに備えるかが極めて重要になってきます。まして、今年では新型コロナウイルス感染症のリスクも隣り合わせで対策しなければなりません。

自分が住んでいるまちのリスクはどこにあるのか、災害弱者の避難方法、子どもたちへの対応、災害食の準備等、直面する問題は地域により千差万別であり、どのように取り組むかが大切になってきています。様々な角度から「まちごと」の防災力を高めるために、当団体スタッフ・経験豊富な理事による『まちごと防災プログラム』を、是非ご活用いただきたいと思っております。

※コロナ禍における新たな取り組みとして、ZOOMや動画での講座も準備中で、準備が整い次第随時説明会を開催していく予定です。

Nうごき NVNADの活動をお知らせするコーナーです。 (2020年2～7月)

春に会員様に近況伺いのハガキ（響 特別号）を出させていただきました。Nうごきは6か月分まとめております。

2月	1日	団体設立25周年のつどい（西宮市）
	2日	イザ！美かえる大キャラバン！2020(神戸市JICA関西)
	15日	災害ボランティアセンター運営訓練（西宮市）
	23日	まちごと防災（西宮市）
	29日	西日本豪雨災害支援活動（岡山県真備町）
3月	10～12日	野田村訪問（岩手県）
	20日	阪大防災ピクニック（大阪府吹田市）
	29日	子ども防災クラブ（西宮市）
4月	21日	Newsletter 特別号（ハガキ）発行
5月	11日	通常理事会（西宮市）
	23日	NVNAD会計監査（西宮市）
6月	13日	NVNAD通常総会（西宮市）
	24日	ひょうごん総会（オンライン）
7月	16日	ろうきん合同会議（オンライン）
	28日	コロナ感染症対策講演会（西宮市）



3月以降は1週間に2～3回ペースでWEB会議を開いています。
大阪大学（たすかんねん）、近畿ろうきん、すいすい吹田、コロナ講習会などなど。

Nごよみ 今後の予定・講演などのスケジュール

8月	17日	ニュースVol. 123発行
	22日	第1回子ども防災クラブ（西宮市）
9月	27日	男女共同参画基礎講座（兵庫県丹波市）
	未定	通常理事会（西宮市）
10月	25日	防災訓練（兵庫県丹波市）



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2020年2月1日～7月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「新規」矢野正史

「継続」齊藤秀子、三好紀昭、北村英夫、魚島侑子、山下佳子、二宮英夫、荻原迪子
山岸裕吉、山岸のぶ子、舟知正、桐山裕文、梶昌代、米山大吾、谷原和憲
矢守恭代、平川りつ子、森川博雄、林幹高、松野博、佐々木真次

個人賛助会員：「新規」小溝健二、狩野宣敬、狩野順子、青木邦博、青木博子、矢野大樹、小山美帆

「継続」森永壽、武田育子、田中恵子、赤対泰、赤対美千代、山田和子、掛水須美枝
谷孝大、山田明子、吉岡啓次、吉岡洋子、小林良彦、小林静子、葉千鶴子
御船鋼、石井保江、大里恵子、秋山洋子、中垣伸、松山晋也、長野理恵子
御内眞理(ふぁんきい☆かんぱに一)、荒銀昌治、荒銀和子、渡辺清武
鈴木憲一、石川智子、鶴田芳樹、前内安一、高橋聰子、小村英子、今井曜子
志賀理恵、宮城久代、渡邊保、渡邊鶴子、竹下養子、渡辺由子、三浪治子
小栗優子、荻原美紀、加藤敬蔵、谷淵啓子、菅野秀徳、菅野好恵、中川純子
戸口始、戸口裕子、戸口京子、中村三佐子、朝井朋子

法人正会員：「継続」日本労働組合総連合会大阪府連合会、株式会社GEOソリューションズ

法人賛助会員：「継続」株式会社京佐興産、株式会社笑顔の食卓

団体正会員：「継続」社会福祉法人光朔会オリンピア、宗教法人真如苑

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

古塚純枝、小溝健二、鶴田美紀代、魚島侑子、山田明子、吉岡啓次、吉岡洋子、二宮英夫
小林良彦、小林静子、掛水須美枝、葉千鶴子、舟知正、桐山裕文、渡辺清武、鈴木憲一
西村俊、西村嘉子、西村桂子、山添艶子、飯干初子、宮城久代、渡邊保、渡邊鶴代、中川純子
深山操江、戸口始、戸口裕子、戸口京子、特定非営利活動法人 日本ハーバルアロマセラピスト協会
カレンター市にご来場の皆様、ヤフー株式会社、近畿ろうきん、ソフトバンク(かざして募金)
社団法人ウルノス モノキフ、シルバー人材センター、事務所にて寄付の皆様

■募金者のみなさま 「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「令和2年7月豪雨災害」伊藤彰、福田純子、板東由佳恵、宮崎千歌江、井上圭子
有山富士美、中元万由美、花山道子、北住儀和、鶴田美紀代、木村健三、中村須栄子、梅田啓人
梶昌代、土佐ミチ代、茨木浩美、オノデラジュンコ、アキノリヒロ、シマダタツヤ、ツザキキクミ
ミヤモトタカユキ、オオヒラリヨウ、スガヤカズヤス、ヤナガワヒデオ

■ご協力いただいたみなさま 山添艶子、池田加代子、熊野尚子、飯干初子、金光美恵子、大喜多重子

平本昌子、湊景子、岡本信子、山本由美子、株式会社高山堂

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

編集後記

新型コロナ感染の第2波が全国各地で猛威を振るっています。このコロナは人が移動する限り感染は拡大することがよくわかります。これから本格的な台風シーズンを迎える中、コロナと水害の複合災害が日本各地で起こらないことを、ただただ願いたいと思います。(H.T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀